

【上市町】 校務 DX 計画

1 上市町の校務 DX の現状と課題について

本町では、第 1 期 GIGA スクール構想下において、学校の働き方改革及び教育の質向上を図るため、令和 2 年 12 月に統合型校務支援システムを導入している。

また、教職員は汎用クラウドツールの「Microsoft365」によるアカウントを付与しており、この機能を利用し教職員間でのペーパーレス会議や児童生徒・保護者等向けのアンケートのオンライン化の実施など、校務 DX への取り組みが徐々に広がっている。

一方で、現在の校務支援システムは庁内に自前サーバを設置して稼働するいわゆるオンプレミス型で運用していることや一部の校務系端末は職員室等に固定していることから教員の多様な働き方の選択肢が少ない状況にある。

また、一部の業務においては、いまだデジタル化やクラウドを活用した取り組みが進んでいない状況にある。

今後の GIGA スクール時代においては 1 人 1 台端末やクラウドサービスの効果的な活用を核とした業務の効率化や教育サービスの質向上を推進していく必要があるため、次の取り組みにより次世代の校務 DX に取り組んでいくこととする。

2 今後の取り組みについて

(1) 校務系・学習系ネットワークの統合

第 1 期 GIGA スクール構想下で整備した本町における教育情報化のためのネットワークはセキュリティの確保のため、校務系と学習系の各ネットワークは分離しており、一部の教職員においては、自席に固定された端末限定で校務系ネットワークへのアクセスする環境にあり、校務のロケーションフリー化を阻害している。

第 2 期 GIGA スクール構想下においては、これらのネットワークを統合し、ロケーションフリーで校務系・学習系へのアクセスを可能とする環境を整備し、データ連携の面でも校務系・学習系間での情報の連携を実現していくことを検討する。

なお、ネットワークの統合にあっては、いわゆるゼロトラストの考え方に基づいたアクセス制御型のセキュリティ対策を講じることとする。

(2) 次世代の校務支援システムの導入

現在のオンプレミス型の校務支援システムは、まもなく更新時期を迎えることから、システム更改時期に合わせ、パブリッククラウドでの利用を前提とした次世代の校務支援システムの導入を検討することとする。

次世代の校務支援システムでは、これまでの教務・保健・学籍等の管理だけではなく、他のクラウドツールとのデータ連携や様々な情報のダッシュボード化などを実現で

きる機能の導入により、効果的な学校経営などが図れるものとする。

また、校務支援システムを導入している一方で、いまだ不要な手入力を行っている作業があるなど、運用面での現状の課題を把握し、更なるシステムの活用により効果的な運用の見直しを図っていきます。

（３）汎用クラウドツール等による校務のデジタル化

現在利用している「Microsoft365」といった汎用クラウドツールを活用し、教職員の会議におけるペーパーレス化やオンライン化等の推進を行います。

また、町内各学校における FAX・押印の原則廃止への取り組みについては、いまだ進んでいない状況にもあることから、押印の見直しによるペーパーレス化とともに、汎用クラウドツール等を活用した電子データによるやり取りの推進を行います。

（４）採点業務の自動化

教員の主な業務の１つであるテストの採点業務は、教員の負担感が大きいものとされております。全国的には、ICTを活用した採点方法として、AIによる自動採点ツールの導入などが広がっていることから、本町においても導入を進め、教員の働き方改革を推進していくこととする。

（５）教育情報セキュリティポリシーの策定

本町においては、教育委員会が独自に定める必要があるとされる情報セキュリティポリシーが策定されていないことから、今後の次世代校務 DX の実現に際してはクラウドの活用と情報セキュリティ対策の必要性が一層高くなるものとするため、各学校で統一的なルールの下でクラウド利用が出来るよう、令和 7 年度中の策定を予定している。

（６）校務 DX の取り組み事例の共有・実践

本町における校務 DX の取り組みは、学校間で差が生じている状況であることから、各校での良い取り組み事例などを情報担当教員等の会議の場や教職員向けの研修会などにおいて、効果的な情報共有を図り、実践につなげられるよう工夫して取り組んでいくものとする。